

# プログラム近況報告

2014年度(2013年10月1日~2014年9月30日)

World Vision

この子を救う。未来を救う。

## ミャンマー連邦共和国

## タバウン地域開発プログラム(MYA-176922)



伝統的な飼料の代わりに新しい調合飼料を導入し、繁殖に成功したハン君の家族

### チャイルドストーリー

## 豚の飼育を始め窮地を切り抜けたハン君の家族

タバウン地域開発プログラム(以下、ADP)に暮らすハン君の両親は、4人の子どもたちを育て、教育を受けさせるために一生懸命働いていましたが、どうしてもお金が足りず、所有していた田畑を担保に高利貸しから150ドルを借りました。3年以内に返済しないと土地を明け渡さなければならない契約でしたが、2年が過ぎた時点で返済の目途が立っていませんでした。そんな時、ハン君の母親のナウさんはADPの生計向上プロジェクトに参加しました。ナウさんは5人の女性グループに参加し、メス豚1頭とその豚を飼育するための資金の提供を受けました。また、豚の飼育と繁殖方法や、ふすま、バナナの茎、トウモロコシの粉を使った新しい調合飼料の作り方を学びました。「最初は、飼料の調合に手間がかかるし、新しい飼料が成功するとは思いませんでした。でも調合飼料を与えてみて、効果を目の当たりにしました。この調合飼料は安価で、豚がよく育つのです」とナウさんは言います。繁殖の結果、メス豚は10匹の子豚を産みました。豚を引き取り自宅で見話をしたナウさんが、グループ内の取り決めに従って6

匹を受け取り、エサやりを分担したほかのメンバーが1匹ずつ受け取りました。ナウさんは5匹を売って175ドルを得、無事借金を返済して田んぼを取り戻すことができました。「子どもたちにはしっかり勉強をさせてあげたいです」と語るナウさんは子どもたちの将来に希望を見出しています。



高校に一回で合格するために一生懸命勉強しているハン君(15歳)と母親のナウさん

教育プロジェクト

就学前教育は着実に普及しています。中途退学の問題に引き続き取り組みます

子どもの初等教育への導入と、保護者や地域住民の教育に対する理解の促進のために、就学前教育の推進はワールド・ビジョン（以下、WV）が戦略的に進めている活動です。地域に住む3歳から5歳までの子どもたちが就学前教育センターに通う割合は、2013年度は32%でしたが、2014年度は42.7%にまで増加しました。これは全国平均の22.9%や、WVミャンマーが目標とする30%を大きく上回る値です。一方で、初等教育に進級した子どもたちの中には中途退学の問題があります。ADPでは、退学の可能性があると事前にわかった234人の子どもに対して、経済的支援や補習の機会を提供しました。様々な理由で正規の学校に通えなくなってしまった子どもたちを受け入れる、非正規学校2校への支援も引き続き行いました。



就学前教育センターの  
就学率が増加

32% (2013年度) → 42.7% (2014年度)



就学前教育センターで学ぶ子どもたち

経済開発プロジェクト

子どもたちの将来に向けて貯蓄する訓練が始まっています

2013年から始まったキャッサバ芋の栽培と加工によって、2つのグループのメンバー 60世帯は現金収入を得ることができました。また、この加工作業のために、25人に短期的な雇用の機会を提供することもできました。ADPでは、新たな現金収入の手段としてアスパラガスの栽培も検討しています。現在支援地域では、貯蓄をしている世帯は4.9%にすぎず、54.3%の世帯が担保なしの借金をしています。子どもたちの教育など、将来の必要に備えて個人が貯蓄をする力を付けら

れるよう、ADPでは2013年から貯蓄・貸付組合の設立を支援しています。この結果、2014年には85村に貯蓄組合、44村に貸付組合が設立されました。

\$ 85村に貯蓄組合、  
44村に貸付組合を設立！



収穫したキャッサバ芋。加工して粉にし、販売します



貯蓄・貸付組合のメンバー。グループで貯蓄し、メンバーは必要な時に低利で貸付を受けることができます

## 保健衛生プロジェクト

## 保健医療に対する地域住民の知識は着実に向上していますが、行動面での変化が課題です

タバウンADPでは、2010年度から行ってきた活動を振り返るための評価を行いました。評価期間の前の2週間以内に、下痢疾患にかかった5歳未満の子どもは14.6%でしたが、そのうち家庭で経口補水塩による適切な治療を受けた子どもの割合は58.7%でした。これは全国平均の50.3%よりも高く、ADPで続けてきた啓発活動の成果が表れてきています。

子どもの栄養に関しても、半数以上の親が「知識が向上した」と答えましたが、評価の結果、5歳未満の29.7%が低体重、14.1%の子どもが深刻な栄養不良でした。地域の人々が学んだ知識を行動に移し、子どもの健康や栄養状態の向上につなげることが今後の課題です。



家庭で経口補水塩による適切な治療を受けた子どもの割合は **58.7%**



子どもたちのための栄養価の高い食事作りを学ぶ母親たち  
※人々が顔に塗っているのは、「タナカ」という木の粉から作った現地で一般的な日焼け止めです



産前の健診や鉄分・葉酸摂取の重要性について助産師から学ぶ妊娠中の女性たち

## 地域の女性のインタビュー

## 地域の人々の健康改善のために活動しています

## Q.家族構成を教えてください。

夫と11歳の娘の3人家族です。

## Q.ADPのどのような活動に参加していますか。

結核対策ボランティアとして、地域の人々を対象とした集まりで結核予防の話をするほか、定期的に結核の患者の家を訪問し、薬がきちんと飲まれているか確認し、完治まで見守っています。また、チャイルドを年4回訪問して生活の状況を確認したり、クリスマスカードや手紙を届けるなど、チャイルド・スポンサーと子どもたちの交流のお手伝いもしています。

## Q.ADPの活動に参加してどのような変化がありましたか。

結核だけでなく、下痢や Dengue 熱の症状と予防法について学ぶことができました。また、子どもの人権について学び、子どもは適切にケアされるべきこと、暴力にさらされるべきではないことを学びました。

## Q.今の夢を教えてください。

自分の村の子どもたちが良い教育を受けられるようになることを願っています。現在、この村には就学前教育の場がありません。村の子どもたちが就学前教育を受けることができるようになったら嬉しいです。



ADPの結核対策ボランティアとして活動するキン・キン・ウィンさん



## ADP マネージャー・インタビュー

このADPで働き始めて10年になります。働き始めて3年目に、やめたいと思った時期もありましたが、地域の人々が喜んでいる姿を見て、やはりこの仕事を続けようと思いました。それ以来、どのような試練があっても後ずさりしない決意で働いています。

支援地域で行った調査によって、地域の多くの家庭で毎日必要な食料が不足しており、また多くの人々が高い利率のローンで苦しんでいることがわかりました。そこで現在、貯蓄と小口のローンを行う自助グループをより増やしていくことと、家畜飼育グループを増やし地域の人々の収入を向上させることに取り組んでいます。

これからも、支援を通して子どもたちやその家族、地域の人々の変化を間近に見ていきたいと思っています。皆さまのご支援に心より感謝いたします。



タブアンADPマネージャー テト・パイン・ピョ (36歳)

## スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト



チャイルド・スポンサーからの手紙やカードはチャイルドの宝物です

チャイルドとの手紙の交流や毎年の成長報告などを通して、支援の成果を実感していただくための活動を行っています。そのため、チャイルドの成長を定期的にモニタリングし、支援事業がチャイルドとその家族、さらに地域の人々の生活をどのように改善しているのか確認を行っています。また、チャイルドの家族や地域の人たちが「子どもを中心とした開発」を理解し、その支援活動の中心を担っていくような啓発活動も行っています。

## 会計報告

MYA - 176922

収支計算書 自 2013年 10月1日 至 2014年 9月30日

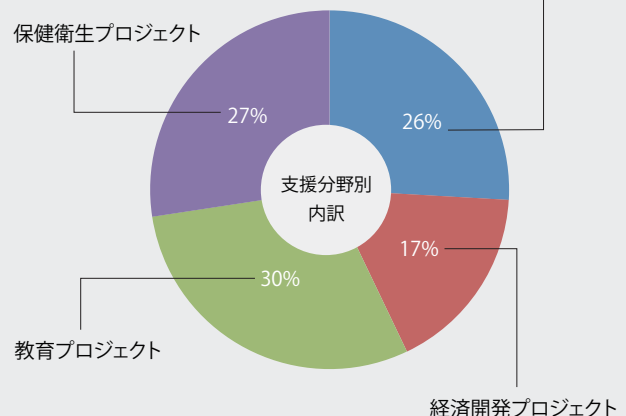
### プログラム支援額 (単位:円)

チャイルド・スポンサーシップ	46,782,193
当期支援額	46,782,193
前期繰越金	2,153,305
プログラム支援額合計	48,935,498

### プログラム支出額

スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト	12,007,660
経済開発プロジェクト	7,882,000
教育プロジェクト	13,765,709
保健衛生プロジェクト	12,705,288
プログラム支出額合計	46,360,657
次期繰越額	2,574,841

### スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト



お問い合わせ

特定非営利活動法人 **ワールド・ビジョン・ジャパン**  
 電話 : 03-5334-5351 (平日 9:30 ~ 17:00)  
 FAX : 03-5334-5359

ワールド・ビジョン

検索

ホームページ : [www.worldvision.jp](http://www.worldvision.jp)  
 e-mail : [dservice@worldvision.or.jp](mailto:dservice@worldvision.or.jp)